



[特集]

土木遺産Ⅸ

～バルカン諸国／多民族地域における土木文化～

明治維新以降、西ヨーロッパを手本として近代化を進めてきた日本人にとって、東ヨーロッパに位置するバルカン諸国は、馴染みの薄い地域のひとつであろう。

しかし、この地域は古い歴史を持ち、古代より様々な民族が暮らし、紛争と融和を繰り返しながら共存してきた歴史を持つ。

そして、そこには人々の生活があり、それを支える社会資本整備が各時代において行われてきた。

今回の特集では、日本人に馴染みの薄いバルカン諸国という多民族、多宗教、多文化の地域において、人々の生活を支えてきた土木遺産を取り上げる。